

# 生きづらさを抱える子ども達への 理解と教育的支援の あり方を考える

## シンポジウムのお知らせ

令和4年

# 7/9

ワークショップ 10:00~11:30  
シンポジウム 13:00~16:00

## 長野市若里文化ホール

長野市若里3丁目22-2  
(ビッグハットとなり)

(ワークショップ 第4会議室/シンポジウム メインホール)

参加者 ————— 教職員、行政職員、フリースクール運営者、保護者、学生、  
生きづらさを抱える子どもの支援に関心がある者 等

シンポジウム参加方法と定員 — 会場参加 (200名) Zoom参加 (300名)

参加料 ————— 大人一人1,000円 大学生以下学生無料

【主催】生きづらさを抱える子ども達への教育支援を考える会

【後援】長野県、長野県教育委員会、長野市教育委員会、学校法人長野日本大学学園、国際社会健全育成学会

不登校の児童生徒数が増加し続けるいま、  
他者に言えない心の悩みや  
生きづらさを抱える子ども達も増えていきます。  
彼らへの教育支援のあり方を考えるべく、  
シンポジウムを開催します。

ワークショップ テーマ 「HSCとは」 10:00~11:30 会場: 第4会議室 参加定員: 30名

HSC (ハイリーセンシティブチャイルド) の基礎を知る。午後に行われる明橋大二先生の基調講演をより深く理解していただけるように、予備知識としてHSCとは何か?について、基本的なポイントをお伝えし、子どもと関わるあり方についてのワークショップを開催いたします。ご興味ある方は是非、ご参加ください。

## シンポジウム



テーマ 「HSCの理解とその支援のあり方について」

基調講演 13:00~14:10

講師: 明橋 大二 氏

### profile

昭和34年、大阪府生まれ。精神科医。京都大学 医学部卒業。

国立京都病院内科、名古屋大学医学部付属病院精神科、愛知県立城山病院をへて、真生会富山病院心療内科部長。

- 児童相談所嘱託医 ● スクールカウンセラー
- 現職: 真生会富山病院心療内科部長 (精神科医) ● 一般社団法人HAT共同代表
- NPO法人子どもの権利支援センターぱれっと理事長 ● 富山県虐待防止アドバイザー

★「情報ライブミヤネ屋」、「世界一受けたい授業」、「となりの子育て」などにも出演。

★著書: 「なぜ生きる」、「輝ける子」など。

★「子育てハッピーアドバイス」は、シリーズで500万部を超えるベストセラーとなり、韓国、中国、台湾、タイ、ベトナムでも翻訳出版されている。

テーマ 「生きづらさを抱える子ども達の教育支援について」 14:15~16:00

パネリスト オンライン参加



鎌田 真氏

長野県教育委員会事務局 心の支援課  
生徒指導係 指導主事

長野県内の公立中学校4校に勤務。「ありがとう」の場面を見つけること、つくること、つなぐことを意識し学級経営に取り組む。担当教科は保健体育。現在、長野県教育委員会事務局 心の支援課にて3年目。各種調査の集計・分析、不登校支援・いじめ対応（小・中学校）を担当。

パネリスト ビデオ参加



林 寛平氏

信州大学大学院教育学研究科准教授

専門は比較教育学・教育行政学。スウェーデンと日本で教職を経験。北欧の教育や国際学力調査、「教育の輸出」などについて研究。共著に園山大祐（編）『学校を離れる若者たち—ヨーロッパの教育政策にみる早期離学と進学保障』など。教職大学院で現職教員らと新しい教育の在り方を探究。

パネリスト



添谷 芳久氏

長野日本大学中学・高等学校 校長

「学校は自分らしく学べる場所であってほしい」がモットー。校内では、管理職業務のかたわら、地歴公民科・探究科・学年に所属し、授業や担任を行う「プレーヤー校長」を実践中。「日大BASEをウェルビーイング追求の場にしたい」との願いをもつ。

パネリスト



齋藤 光代氏

一般社団法人 信州親子塾 理事

小学校担任、専科、特別支援学級の他、特別支援学校で病弱・知的・重度重複教育、教育相談にも長年携わり教職28年で退職。学校や社会で苦しさをを感じる子ども若者の居場所、自分を再構築する場として「信州親子塾」を立ち上げ、言語化されない心の声を聴く。長野日大BASE心のリハビリ担当スタッフ。

パネリスト



百瀬 敬子氏

アドラー心理学カウンセラー・モモの会代表

38年間小学校・養護学校等で教鞭をとる。子ども達との信頼関係を育てたいと願いながら、親業・教師学・心理学を実践に活かすべく取り組む。  
・認定子育てハッピーアドバイザー・マイスター  
・教師・保育士が学ぶ会（いきいき教室主催）

進行役



高柳 健氏

一般社団法人 信州親子塾 理事

高校の体育教師を12年間、特別支援学校で8年間勤務。退職後、自分らしく生きるための人生の学校「信州親子塾」を開設。自分軸で生きるためのセミナーリーダー、カウンセラー、コーチ。心と体をととのえる整体師。長野日大BASEの心のリハビリ担当スタッフ。

生きづらさを抱える子ども達への理解と教育的支援のあり方を考える シンポジウム

参加申し込み締め切り 7/5 (火)

※定員になりしだい締め切ります

申し込み方法

下記銀行口座へシンポジウム参加料を振込み、事務局あて、「シンポジウム参加申し込み」と書いて、住所、氏名、電話番号、FAX番号、職業（学生の場合には学校名）または保護者と記載しFAXをするか、下記の参加申し込みフォームからお申し込みください。

参加料振込口座

八十二銀行東和田支店 普通521848 名義:生きづらさを抱える子ども達への教育支援を考える会

参加申し込み  
フォーム



問合せ先

事務局:国際社会健全育成学会 担当:大月  
〒380-0833 長野市鶴賀権堂町2199-18 権堂ステーションビル2F  
TEL:026-217-5577 FAX:026-217-5623 E-mail:ootsuki@spak.jp